

平成27年度 学校経営方針

1 校訓

「自彊自律」 「和敬禮節」 ～進んで自らを鍛え律し、他者には優しく礼儀正しく～

2 教育目標

教育基本法、学校教育法、長崎県教育方針等に則り、人格の完成をめざして、豊かな情操と道徳心、幅広い知識と教養、健やかな体を育ませるとともに、理想を高く掲げ未来を創造する次世代のリーダーを育成する。

3 基本理念

- (1) 全教職員のバイディング精神により生徒一人ひとりの無限の能力と可能性を引き出す進学校。
- (2) 授業、特別活動、部活動、講座・自学等のあらゆる活動を通じて生徒の自己指導能力を育成する進学校。
- (3) 生徒、保護者、地域、県民から信頼され負託に応えられるよう進化と深化を続ける進学校。

4 本年度の重点努力目標

(1) 人間力の育成

- ① けじめや切り替えの指導を通じて、「学習を基軸に据えた部活動との両立」を果たすタフな人間性を育む。
- ② 挨拶、掃除、容儀の「DNA 3か条」を通じて、豊かな品性、南高生としての自覚と誇りを育む。
- ③ 時間や規則、提出期限の厳守、三点固定による生活リズムの確立等を通じて、自己統制能力を育てる。
- ④ 清掃活動や教室・部室等の私物の整理整頓の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てる。
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動等を通じて、自主性や主体性を育むとともに、リーダーシップ、フォロワーシップを体得させる。
- ⑥ 『道徳教育全体計画』に基づき、「あらゆる場面で道徳教育」との認識で教育活動を展開し、特に、生命の尊厳、個や人権の尊重について深く理解させ、自他共に思いやる心を育ませる。
- ⑦ 桜が丘特別支援学校、佐世保特別支援学校との交流活動を通じて、人間愛と共生の心を育ませる。

(2) 学びの体幹強化と進路実現

- ① 独自教材等の作成・活用や授業規律の徹底など、計画的できめ細かな各学年の導入期指導を行う。
- ② 「3つのShin（真・進・信）」を通じて、自らを鍛え伸ばす学びの姿勢を定着させる。
- ③ 速読等の「朝のスピ・トレ」を通じて、作業能力と思考力を向上させ、基礎的学習能力の拡充を図る。
- ④ 総学の時間、卒業生による進路講演会、大学OCへの参加等を通じて、進路選択能力の育成を図る。
- ⑤ 『生活の記録』をコミュニケーションツールとしても活用し、自己管理能力や時間活用能力を育成する。
- ⑥ 素材研究に加え教授法研究を行うとともに、「生徒による授業評価」を活用して良質な授業を提供する。
- ⑦ スタディ・サポート、定期考査、対外実力・模試、センター試験、大学入試問題等の分析・検証を通じて、授業改善（授業のPDCAサイクルの確立）に取り組む。

(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり

- ① 海外研修、県立大学との高大連携事業、GTEC、2学期制、幅広い科目選択、朝のスピ・トレ、Sプロ、南高祭、生徒会による学校生活改善や朝の挨拶運動など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させる。
- ② 保護者への連絡を密にし信頼関係を築くなかで、生徒が社会人として自立できるよう援助する。
- ③ 育友会活動への積極支援、保護者の来校機会の増設により、保護者との連携、相互理解をいっそう深める。
- ④ 学校安全衛生委員会の機能も活用しながら、安全で安心、より豊かな教育環境を提供する。
- ⑤ 面談活動や観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、スクールカウンセラーを含めて、教育相談委員会、特別支援教育委員会等の組織的な対応と支援を行う。
- ⑥ Web ページやメールメイト、『緑柏』『学年だより』等を通じて、積極的に情報発信と情報公開に努める。
- ⑦ 中学校や地域に対して積極的に広報活動を行うことで、未来の入学生の認知度と信頼感を高める。